

## 北九州市立新門司老人福祉センター指定管理者検討会 発言要旨

- 1 開催日時 平成25年10月15日(火) 9:00~
- 2 場 所 本庁舎8階 82会議室
- 3 出席者 (検討会メンバー)  
石塚構成員 小鉢構成員 篠塚構成員 田村構成員 樋上構成員  
(事務局)  
保健福祉局高齢者支援課長 高齢者支援課いきがい係長 担当職員
- 4 会議内容
  - (1) 座長選出(事務局の提案、検討会の合意により)
  - (2) 議事次第、選定基準、採点上の注意事項について、事務局より説明
  - (3) 応募団体(4団体)によるプレゼンの後、構成員による質疑応答

社会福祉法人 北九州市門司民生事業協会

- ・ プレゼン
- ・ 質疑応答

(構成員) 「共生・共助の地域づくり」にどの様に貢献しているか。

(団体) まずは「健康づくり」という面で、老人クラブの方、一般利用の方に多く利用してもらっている。安全安心教室(交通安全)、口腔ケアなど実施しており、介護予防教室については、月1回、定期的に行っている。つい最近では、松ヶ枝中学校生徒の福祉体験ということで、生徒が複数みえた。これらを積極的に行いながら地域に貢献してきている。

(構成員) 「共生・共助」とは、どことどのことか。

(団体) 私どもセンターと、地域、主に、地元は松ヶ枝南校区だが、南北、新門司それから少し広げて、吉田とか沼と関わっている。

(構成員) 利用者からの苦情への対策はもとより、利用者の声をくみ上げることが重要であると思うが、利用者のアンケートは、紙で行っているのか。

(団体) ペーパーで行っている。

(構成員) 利用者の年齢層を考えると、紙では難しい場合もあると思うが、その方々の声のくみ上げはどのように行っているか。

(団体) 代筆を行ったりもするが、利用者は比較的元気な方が多く、不憫に感じる方は実際には少ない。

(構成員) あるいは、施設に直接言えない苦情についてはどの様にしているか。

(団体) 目安箱を設置しているが、入っていることはほとんどない。ただ、地元出身の職員がいるので、利用者顔見知りであることも多く、言い易いのか、触れ合う中で直接言われることが多い。

- ( 構成員 ) その内容は、所長まで挙がっているのか。
- ( 団体 ) 挙がっている。
- ( 構成員 ) 大里地区からのバスの便を増やすことはいつから行えるか。
- ( 団体 ) 現在、試走も行っている。最終的に指定管理が決まれば、時間の試算や乗降の安全確認を行った上で、コースを決定する。
- ( 構成員 ) センター長は、囑託ということによろしいか。
- ( 団体 ) 事務職員 2 名が正規職員で、それ以外は囑託 ( パート )。センター長は囑託 ( パート ) である。
- ( 構成員 ) 平成 24 年度の決算書の中で、造園関係の維持管理費が多いように感じるが。
- ( 団体 ) 敷地自体が広く、草刈だけで年に何回も行っている。また何十年もやってきているので、周辺の木が大木化しており、何本か切ると費用が嵩んでくる。

株式会社 トキワビル商会

- ・ プレゼン
- ・ 質疑応答

- ( 構成員 ) 「人的基盤」のところで、本社からのバックアップが受けられるとのことだが、具体的に、どのような問題が起きて、どのようなバックアップが受けられると想定するか。
- ( 団体 ) 問題が起きたときに本社が動くのは当然だが、通常でも、運営から本社がフォローするという考えである。現地職員の研修、指導から、イベント・教室、または新しい教室を見つける時にも必要になってくる。
- ( 構成員 ) 本社のバックアップは、研修・指導を主として、問題が起きたときにも対応するというものでよいか。
- ( 団体 ) 機械の故障などになると本社がまず動くことになる。
- ( 構成員 ) 人件費に関して、頑張っって削減するということであるが、現在より労働条件が悪くなる可能性はあるか。
- ( 団体 ) 現在、雇用している方を引き続き雇う場合には、現在より賃金が安くなることになるかもしれないが、その点はきちんと説明していきたい。新たに採用する場合にも、地元採用を優先するつもりである。いずれにしても、当然、労働基準法などはクリアしての労働条件としていく。
- ( 構成員 ) 全世代が利用できる施設を目指すということであるが、施設の設置目的を理解した上でのことであるか。
- ( 団体 ) 条例も読ませていただいており、時間の延長も含めて、あえての本社の提案である。
- ( 構成員 ) 高齢者の施設に、子供が入ってくることになるが。
- ( 団体 ) 交流が生まれると考える。子供が怒られる場面も、教育になってくると思う。実際私どもが管理する施設では行っている。当施設でも交流が図れる形を考えている。
- ( 構成員 ) 福祉的な相談業務を行う考えはないか。

- (団体) 現状の、看護師による相談窓口が継続できればと考えている。また、私どもの施設でも行っている健康相談会を、当施設で取り入れられればと考えている。
- (構成員) 社会福祉士を入れる考えはないか。
- (団体) 今のところは考えてなかった。

#### 特定非営利活動法人 ワーカーズコープ

- ・ プレゼン
- ・ 質疑応答

- (構成員) 全国で同様の事業をされているが、まつがえ荘について独自性はどこだと考えるか。
- (団体) 北九州市は高齢化率が高く、またこの門司で、他の事業活動を行ってきた中で、私たちは、高齢者同士の繋がりを強めてきた。また、高齢者自身の仕事興しに取り組んできたことを強みとして、社会との接点を作っていきたい。
- (構成員) 「家族との協同」とのことであるが、「家族」をどの範囲ととらえるか。例えば、1人暮らしであれば、「家族」をどの範囲とするか。またその協同手段をどのように考えているか。
- (団体) 私どもが運営する施設では「家族会」を設け、皆で支えあっているが、一人暮らしの方であるとやはり身寄りもなく、「家族との協同」に一致しない部分もある。その場合、私どもが家庭的な運営を大事にし、一緒になって見守ったり支えあったりを理念としていきたいと思っている。
- (構成員) 高齢者の方々にいろんな講座を提供して、地域活動に繋げるよう支援していくということであるが、地域活動とは、ボランティアを考えているか、仕事として捉えるのか。またはその両方であるか。
- (団体) 他の老人福祉センターではボランティア活動が主であるが、私どもは、高齢者自身が給料を稼げる仕事興しで地域に繋げることも、意識してやっていきたいと思っている。
- (構成員) 仕事を派遣する場でもあるということか。
- (団体) そうである。
- (構成員) 門司区はとりわけ高齢者率が高いが、その方達の利用増に向けて、どのような理念であるか。
- (団体) 高齢者の方に来てもらう仕掛けとして、私どもは利用者懇談会や地域懇談会を作っているが、その中で周知を図っていききたいと考えている。またその中でアンケートを行うことでニーズを把握し、高齢者自身が、やりたい、参加したいと意欲を高めるような講座を企画し、利用者を増やしていきたい。
- (構成員) 施設付近は交通の便が非常に悪いが、その対策は取っているか。
- (団体) 現状の送迎バスの便数を増やすというよりは、バスの巡回を広範囲にしていく形ができればと考えている。
- (構成員) 職員の方の質の担保(サービスの質の担保)はどのように考えているか。
- (団体) 私どもは全国組織で活動しているが、まず4ヶ月に1度の全国会議がある。ま

た業種別の会議も行っているが、高齢者の事業分野としての研修も常に行っている

アースサポート株式会社

・ プレゼン

・ 質疑応答

- ( 構成員 ) 利用者の満足度のところで、目安箱を設置するとのことであるが、御社での独自性はあるか。
- ( 団体 ) サービス業のセオリーとなりつつあるが、利用者の投書を掲示板に貼り出し、その対応結果を含めて、来場者に確認いただくまでを考えている。
- ( 構成員 ) この施設の利用者は高齢者であるが、その対策はいかがか。
- ( 団体 ) 声を吸い上げにくいところもあると思うので、目安箱とは別に、定期的アンケートを実施するが、記入しづらい方、提出されない方には、不便な箇所がないか、適宜声かけしていきたいと思う。
- ( 構成員 ) 野外活動について、国内旅行ができればとのことだが、施設外に出るわけで、何かあった場合の保険なりも考えているか。
- ( 団体 ) 弊社は全国で53箇所のデイサービスを展開しているが、リクリエーションとして、花見だとか、野球観戦等も行っており、会社として保険に加入している。
- ( 構成員 ) 地域の住民や、関係団体との連携、あるいは協同をどのように考えるか。
- ( 団体 ) 弊社は介護業界でも珍しく、営業担当を各地域に配置している。まずは、すぐできることから、パンフレットや、イベントカレンダーを置かせてもらうところからはじめていきたいと考えている。
- ( 構成員 ) 経費の低減について、「経費節減のためのミーティング」「コスト意識高揚のための職員教育」とは具体的にどういうことか。
- ( 団体 ) 職員1人ひとりが経費削減する行為自体は、今や、やれて当たり前だが、さらに定期的動機付けを、ミーティングなどの際にもれなく行い、自然の動きとして、あるいは何も考えなくてもやる動きとして組織の中で作っていくということである。
- ( 構成員 ) 収入の増加策について、野外活動や地域との交流をメインにすることで、収入増に直結するのか。
- ( 団体 ) それらの交流により、施設の評判や認知度を上げることを一番に考えており、収入増を図りたいと誤解を与えているならば訂正したい。
- ( 構成員 ) 事業実績の中で、施設まるごとの管理運営の実績はあるか。
- ( 団体 ) ひとつの箱ものとして、管理運営する実績は少ない。
- ( 構成員 ) 御社がすでに持っているノウハウを施設に活かす視点はあるか。
- ( 団体 ) 具体的にどういったシナジーが発揮できるか、これだと言えるものは正直ないが、実際に運営していく中で、今見えてないものもすぐに見えてくるであろうと思う。その中で、弊社が持つノウハウをどう活かせるか、確認していきたい。

(4) 構成員は、各団体の提案概要のヒアリングと質疑応答を受け、提案についての評価を行い得点を記入し、発表。

(5) 構成員による意見交換

(構成員) トキワビル、ワーカーズコープ、アースサポートは、提案書はきちんと書かれているものの、企業的な、マニュアル的な進め口となっている。またヒアリングの結果、利用者の視点、理念について欠いている団体があり、点数を再考するつもりである。

(構成員) 門司民生事業協会は、地域に密着した運営や、地域社会と一体となった事業運営が今もなされている。トキワビルについては、全体的によくできているが、地元地域との交流が図れるかどうか、ワーカーズコープ、アースサポートについても同様のことが言える。

(構成員) 門司民生事業協会は、当施設が抱える問題点が明確で、今後に活かせると思う。ワーカーズコープの提案は、老人福祉センターから少し飛び出して、年長者研修大学校のようになるのか。そういった提案もあるのかと考えたが、利用者が本当にそれを望むかということ、そうではないかもしれない。アースサポートについては、明確な思いが伝わらなかった。

(構成員) トキワビルは、写真やチャートが的確に盛り込まれた、分かりやすく非常によい提案書だった。ただ、確かに、門司民生事業協会は、今の経験を踏まえ、より良くしていかないといけない点をよく検討している。また、本日のプレゼンは一番の出来だったと思う。ワーカーズコープ、アースサポートについては、全国展開している団体だが、逆に、地域に根ざした、かゆいところに手が届く運営が出来るのか、本日のプレゼンでも疑問が残った。

(構成員) 門司民生事業協会が最高得点となったものの、マンネリ化といった改善点もあり、団体自身がよく分っていたが、今後工夫して欲しいという意味で、点数を低くした。トキワビルは魅力的な企画であったものの、当施設の立地状況では難しいのでは。アースサポートの提案は、具体性がなく、イメージが湧かない。ワーカーズコープも、全国展開している中のひとつとして捉えており、そぐわないと思う。

(6) 各構成員に意見の修正の機会を与えた後、採点結果を取りまとめ、検討会を終了した。